

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0240/350515/08/02		事業の種類	5		
年度	19	事務事業名	相生かきまつり実行委員会補助金事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	3
予算事業名	観光振興事業		担当部課名	産業振興課			
政策名	にぎわいと活気のあるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
施策名	商業・サービス業・観光						
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣の試食や、各種バザー、ステージイベントなどを実施。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	観客数	人	15,000	15,000	16,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.300	0.300	100.0	0.300		0.300	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,621,408	3,293,034	90.9	3,349,885	101.7	3,281,172	97.9	
	事業費	500,000	100,000	20.0	100,000	100.0	500,000	500.0	
	合計	4,121,408	3,393,034	82.3	3,449,885	101.7	3,781,172	109.6	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,121,408	3,393,034	82.3	3,449,885	101.7	3,781,172	109.6	
	合計	4,121,408	3,393,034	82.3	3,449,885	101.7	3,781,172	109.6	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8,000	15,000	187.5	15,000	100.0	15,000	100.0	
	実績	15,000	15,000	100.0	16,000	106.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

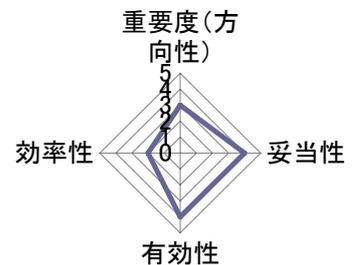
指標名1		かきまつり観客1人あたりの開催費用							
指標説明(式)		かきまつり開催費用／観客数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	33	7	21.2	6	85.7	33	550.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	相生の特産である牡蠣をPRするイベントとして、観光客をターゲットとして盛大に開催できた。	4	4
有効性	成果目標(改善)達成度	相生の特産である牡蠣をPRするイベントとして実施したが予想以上の観光客を誘致でき、盛況であった。	4	4
効率性	手段の最適性	牡蠣生産業者にまったく自主性ない。行政が牡蠣ブランドとしての位置づけのためのPRに努めて、まつりの主体は生産者が行うべきではないか。	2	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	生産業者の自主性。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	生産業者の自主性。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

実施体制のあり方について、関係団体である漁業協同組合等と20年度において方向性をだし、次年度以降に実施できるよう調整する。

検討の有無	要検討
総合指標	18